



新年度を迎えて

南砺市長 田中幹夫

春爛漫。雪国に住む私たちにとって一番ウキウキする季節を迎えています。

さて、全国的にアベノミクス効果が少しずつ始めているようですが、4月1日からの消費税8%への引き上げが地方へ、中小企業へどう影響するのか？ TPP交渉の動向。未だ道半ばの東北復興の遅れ。不明確なエネルギー政策。周辺国との冷えた関係の動向。さらに進む地方の少子高齢化等を考えるとどうしても不安を感じてしまうのは私ばかりじゃないと思います。今年は合併南砺市が誕生して10年の節目の年です。初心忘れることなく市民の皆さんとの約束を実行する大切な一年となります。

合併の「実」。「成果」を実感頂く年でもあります。北陸新幹線開通や南砺スマートインターチェンジ完成等大型事業の完成もあります。今こそやるべき事を実行し、新たな気持ちで市民幸福度、満足度を上げ、情報共有しながら市民の皆さんの付託に答える最大限の努力をする一年としたいと思います。

◆三つの「しんか」

今年は三つの「しんか」を掲げたいと思います。

一つ目は「真価」合併南砺の「本当に値打ち」をもう一度考え、合併してよかったと思う事のできる年にしたい。

二つ目は「深化」もっと南砺の深い深い魅力を探し、磨きこんで発信する。新幹線時代に向かって行きたい。

三つ目は「進化」10年を迎える南砺。更なるステージへ向かって進化し続けたい。

◆エコビレッジ構想

変わりつつある私たちの暮らしの中で再度「真の幸福を感じる地域づくり」を実践する「エコビレッジ構想」に取り組んでいます。「自然エネルギー・

環境保全」「農林業等第一次産業」「教育・次世代育成」「地域包括医療ケア」「文化の創造と継承」等を総合的に取り組むまちづくりとして更に全庁的に取り組んで行きたいと思います。「豊かな未来。それは懐かしい過去にある」といつも申し上げています。もう一度里山資本や文化資本、南砺市ならではの人的資本を見つめ直し、地域資源を利活用して真の持続可能な地域づくりに取り組むという事です。

まだわかりにくい事業ですが、全国的にはかなり注目度が高まって来ています。こういった構想の実践が都会の若者を中心に刺激し始めていると思います。東日本大震災以降かわりつつある真の日本。真の幸福な暮らし方を南砺から発信して行きたいと思っています。

この事業は我々が取り組むすべての事業に関係してくるものです。市民の皆様にはご理解を頂きますようお願いいたします。

◆新幹線時代

新幹線時代がもう目の前です。地域経済発展のために、活力を高めるために大きな歴史上のトピックです。チャンスです。強い「攻め」の事業展開をして行きます。私はこの5年間で広く、多くの種を撒いたと思っています。そしてその種が確実に芽を出し、育ち始めています。最近の市民の皆さんの多くの取り組みの広がりを見るとわかります。

また、「文化芸術創造都市 南砺」のポテンシャルは大きいと思います。市民上げて自信を持って今こそ「南砺」を世界に売って出たいと思います。

そんな気概で、元気な市民が行動する南砺に必ずや人と情報は集まって来ます。また、その兆候は確実に見えてきています。市民力と我々行政の力を結集して「南砺」をさらに一つ上のステージへ上げて行きたいと思っています。

◆ 情報発信し続ける田中幹夫市長 ◆

今や、Facebookを使いこなす首長としては全国でも有名な田中市長。
Facebookのみならず、自身のブログでもどんどん情報発信しています。是非御覧ください！

～田中幹夫Amebaブログより～

2013
10月

ディスカバージャパン 別冊「地域ブランドのつくりかた」

この雑誌。是非買って読んで下さい。→

伊勢谷友介さんらのリバープロジェクトと南砺のプロジェクトが紹介されています。

「限界レシピ」「井波彫刻」「五箇山和紙」「対話型社会に向けたワークショップとエコビレッジ構想」等々。



「ご当地eコマース革命 ニッポンの魅力を再発見」

2014
1/15

南砺市も参加した自治体運営型通信販売サービス
「JAPAN satisfaction guaranteed (SG JAPAN)」
がYAHOO! JAPANショッピングと連携へ

～SG JAPANとは？（田中市長ブログより）～

樋渡武雄市長が発案。Facebookでの通信販売システムを行政で構築した「FB良品」として始まった。私も一昨年樋渡市長とお会いし、早速南砺市として参加を表明12月8日に「FB南砺 南砺のほんまもん」としてオープンした。その後「FB良品」からさらにシンガポール等を中心に広く日本の良さを紹介されている佐藤俊介さんらのJAPAN satisfaction guaranteed (SG JAPAN) ブランドに変更。同時にシンガポールへ事務所を開設し、ASEANのプラットフォームとなる仕組みが出来上がった。

さらに今回ご存知YAHOO! JAPANの一村一品促進プラットフォームの立ち上げに先ずSG JAPANとして参画、相互協力する事となった。

南砺市では約一年で90商品を販売、現在まで約700件 550万円ほどの売り上げがある。新幹線時代に向けて交流推進と売れるものを再発見し、磨きこんで誘客と一緒に南砺のいいものも売って行く事でさらに南砺の価値を高めて行きたいと思っている。多くの市民の皆さん、事業所の皆さんに知恵を出して頂き、南砺のほんまもんを売り出して行きたい。

2014
1/22

大手旅行代理店へ 自らトップセールス

先ずは大手旅行代理店二カ所へ。日頃からお世話になっている。続いてJR東日本本社ビルへ。こちらもお世話になっている常務さん、次長さんにお会いする事ができた。最後に本年海外からの誘客のコンサルティング事業をやっている日本政府観光局JNTOへ理事の皆さんと。

今回は新幹線開通まで1年2ヶ月となった今年の南砺市としての事業展開のお願いと打ち合わせ。目先のPRだけでなく腰を据えて長期間しっかりした誘客、発信事業計画を展開すべき。しかしながら最も大事な26年度の南砺市の取り組みについて情報交換とスケジュール決めにスピード感を持って発信しなきゃいけない。

今が一番重要な時期なんですよ！



2014
2/7

東京で開催のGS世代研究会

現在黄金の60歳代をターゲットに旅行、物販や地域振興サービスなど幅広い活動が期待できる研究会です。全国から19市町村、そして大中小企業が参画しています。

高齢化社会、新幹線時代に向け、新たな戦略に向かって大きな一歩を踏み出します。



山伏の聖地で講演

2014
2/22
~23

聖地観光シンポジウム（山形県鶴岡市）で、基調講演とパネルディスカッション。

羽黒も出羽三山神社を中心とした月山山岳信仰とまちづくりを考え、関係市町村連携で取り組んでいる。山伏の星野さんとのご縁により実現。

2014
4/1

マガジンハウスWEBでもリバースプロジェクトが紹介されました

マガジンハウスのローカルネットワークマガジン「コロカル」で南砺市とリバースプロジェクトが共同プロジェクトの連載が始まりました。

http://colocal.jp/topics/rebirth-project/nanto/20140331_31306.html



エッセイ

地域づくりの心得 2014.02.01

今日のおさらい。

地域づくりに大切なコト。

- 1、「心」が動くコトが大事。ストーリーがあればムーヴメントが。そこからヨスマが現れる。ヨスマの心を動かす。尚、何事もわかりやすい方がいい。そして味はもちろんだが美味しい。面白い。事が大切。
- 2、「愛」が必要。「郷土愛」「愛着心」もちろんヒューマンスケール。持続可能な事。
- 3、できるだけ多くの皆さんに参画をしてもらう。主人公になってもらう。そんなプロセスをデザインするのがリーダーだ。
- 4、若者、子供たちにつながる方がいい。古いものをリスペクトし新しい発想が大事。
- 5、三方よし。から四方よしへ「売り手、買い手、地域、未来よし！」
- 6、人と人の繋がりは大変大事だが、人との結び目が固すぎると多くの人が入りにくなる。「結んで開いて」がちょうどいい。色々な多くの人に関わって頂くことが大事。だから「結んで。開いて。手をうって。結んで、また開いて。。。。。」がいい。

結び過ぎたところがあるかもしれない。明日からは開いて行きます。

～田中幹夫ブログより～

エッセイ

今 想う

2014.03.11

人口減少や少子化、高齢者世帯の増加、気候変動等の様々な課題に対応していくため、私たちは今、人と人、そして人と自然との関係を改めて考え直す大きな時代の転換期を迎えていると思っています。環境を守り、自然と共生しつつ、人と人が支え合いながら目に見えない豊さが実感できる「新しい暮らし方」を構築していくためには、環境保全・エネルギーの分野はもとより、いのちの源である食、農林水産業や、健やかな暮らしのための保健・医療・介護福祉、そして未来を創る教育・次世代育成など、様々な分野を有機的に連動させながらまちづくりを進めることが不可欠です。

持続可能な地域が小さくてもエネルギーや食、カネ等が循環して行く仕組みづくりです。

数年前から医療・介護の連携と在宅支援に取り組んできました。「南砺型地域包括医療・ケアシステム」と呼んでいます。人と地域の絆の中で生涯を安心して過ごせるための「自助、互助、共助、公助」のシステムも構築して来ています。

100年先の幸せを考える時、大切なのは「何をつくるか」より「何を残すか」だと私は思っています。「受け継がれていく」という信頼感こそが、大きな満足と安心を生み、現在のまちづくりに対する大きな原動力を生みだすと信じています。

現在南砺市では、人、物、自然、文化といった様々な地域資源を循環させることによって自立した地域をつくることを目指す「エコビレッジ構想」を進めています。継続性のある持続可能な地域づくりを目指すこの「エコビレッジ構想」の取り組みを通じて、私たちの暮らす地域の大きな可能性を最大限活用し、これからの日本に伝えるべき真の豊かさを南砺から発信していきたいと思っています。その先の豊かな未来に向かって、先人や歴史にリスペクトし、「知足利他」の心をまちづくりのキーワードとし進めていきたいと思っています。

～田中幹夫ブログより～

後援会からのお知らせ

日 時 平成26年6月7日(土) プレー代 各自でご負担ください

場 所 トナミロイヤルGC 募集人員 200名(50組)

参加費 5,000円

会員の皆様には別にご案内申し上げます。

『なんと結いの会 平成26年会費』のお願い

- ・田中幹夫本人が代表を務める唯一の政治資金管理団体です。
- ・会員は個人とします。
- ・年会費は、1口1,000円からとし上限は30口30,000円までとします。
※田中幹夫の政治活動を資金面においてご支援賜りますようお願いいたします。
※会員入会のお申込みについては、田中幹夫事務所にお問い合わせください。

振込先

○なんと農業協同組合 西部支店	普通0019676	なんと結いの会
○福光農業協同組合 本店	普通0060584	なんと結いの会
○となみ野農業協同組合 井波本町支店	普通0013388	なんと結いの会
○北陸銀行 井波支店	普通6003170	なんと結いの会
○富山銀行 井波支店	普通2116098	なんと結いの会
○ゆうちょ銀行	00750-9-76579	なんと結いの会(払込取扱票をご利用ください。)

なお、振込手数料は各自にてご負担いただけますようお願いいたします。



会員には年2回発行の
会報誌をお届けします

田中幹夫事務所

〒932-0231 南砺市山見746-3
TEL 0763-82-5296
FAX 0763-82-5294

田中幹夫オフィシャルサイト

URL ■ <http://www.tanakamikio.jp>

E-mail ■ office@tanakamikio.jp

田中幹夫後援会HP

■ <http://kouen.tanakamikio.jp>

